

各事業の関連情報

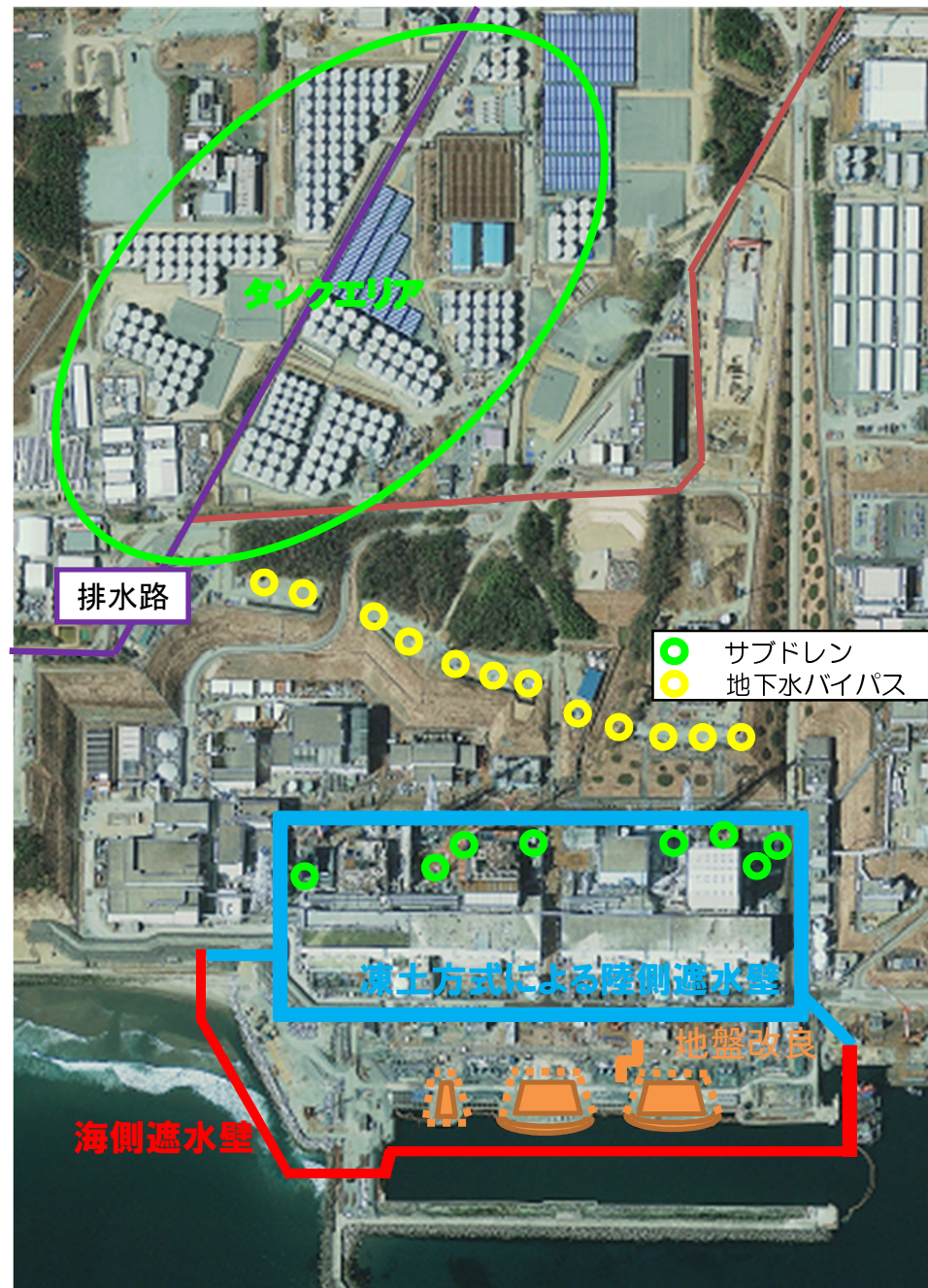
平成26年4月8日

経済産業省

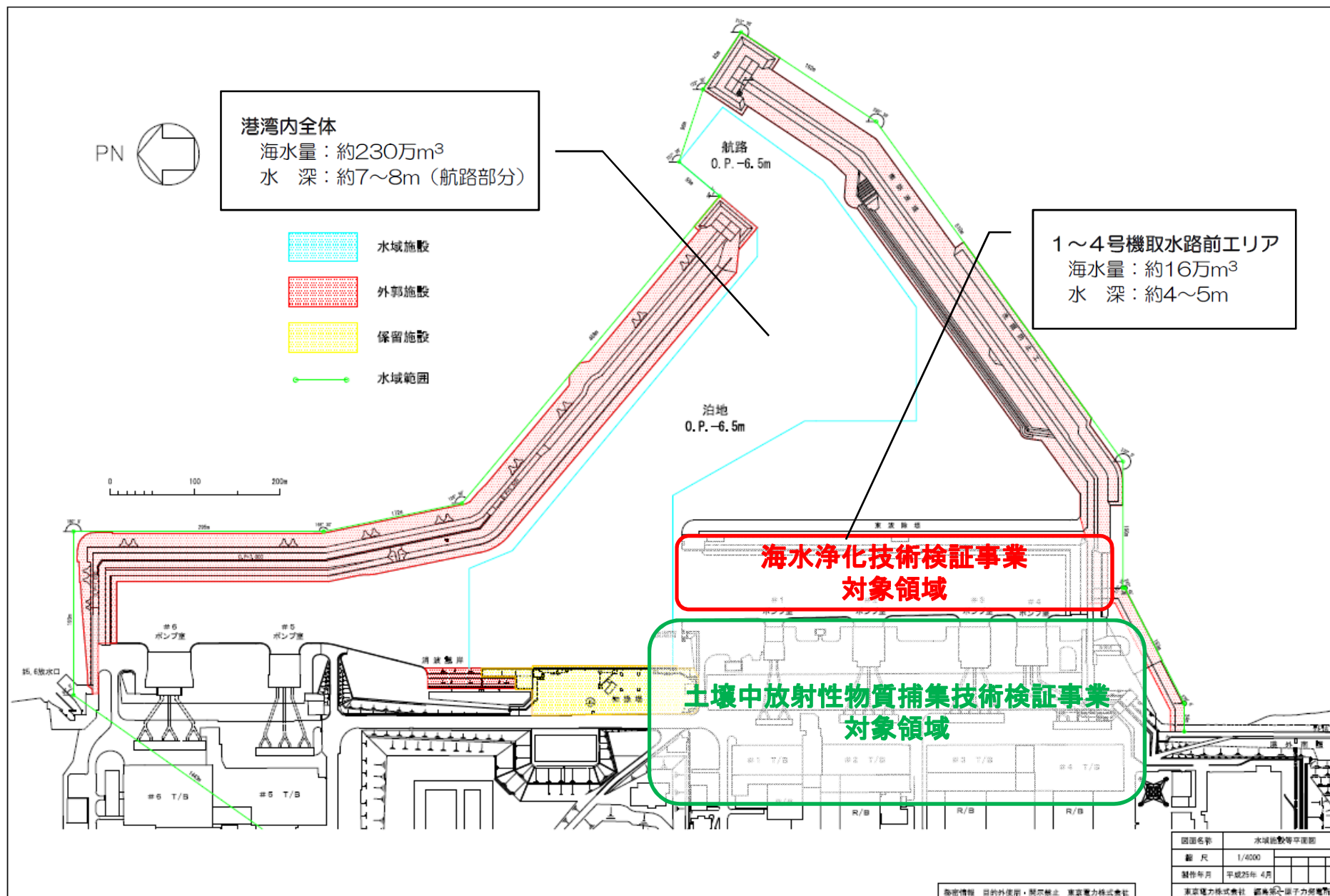
資源エネルギー庁

(内閣府 廃炉・汚染水対策チーム事務局)

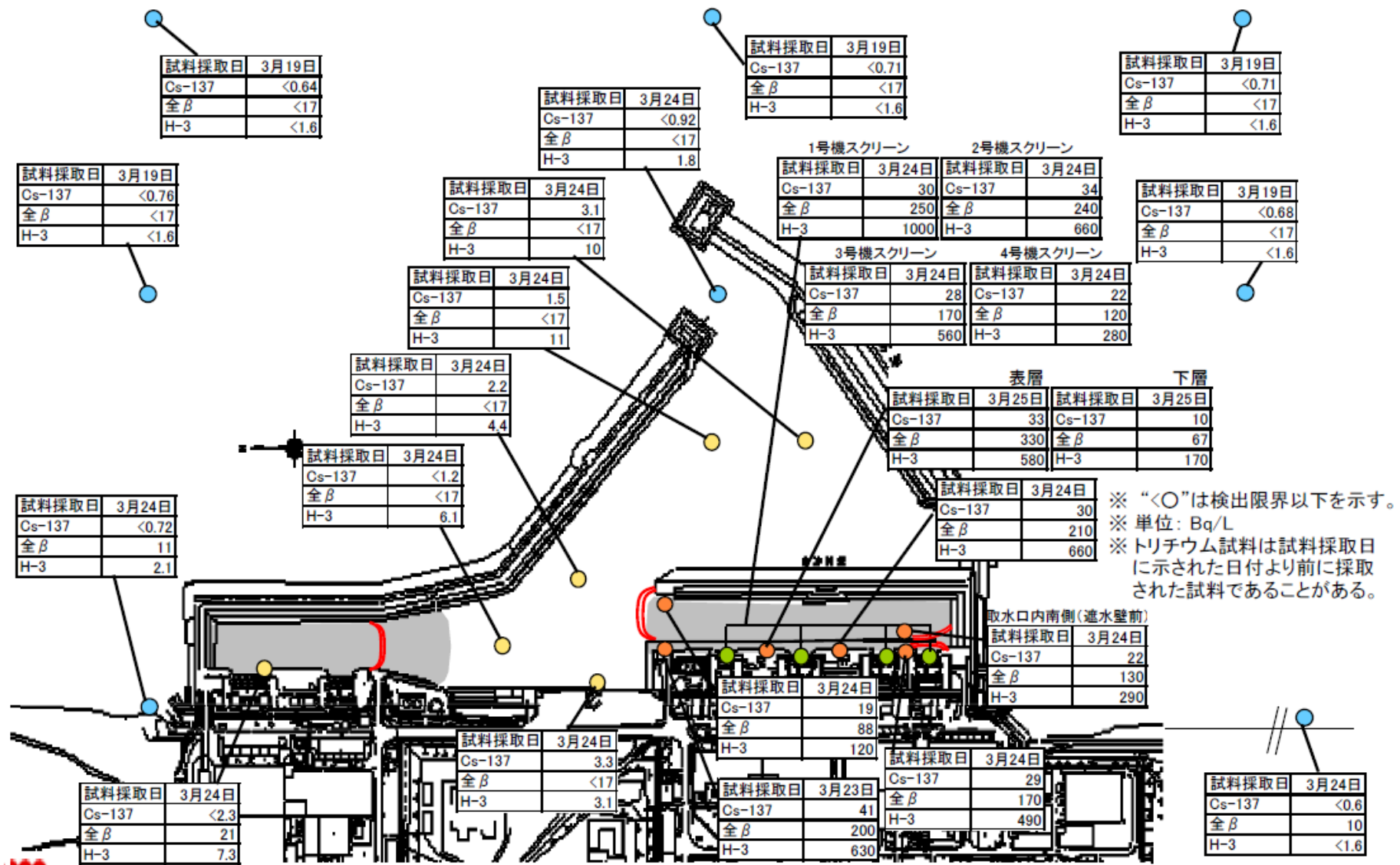
全体図



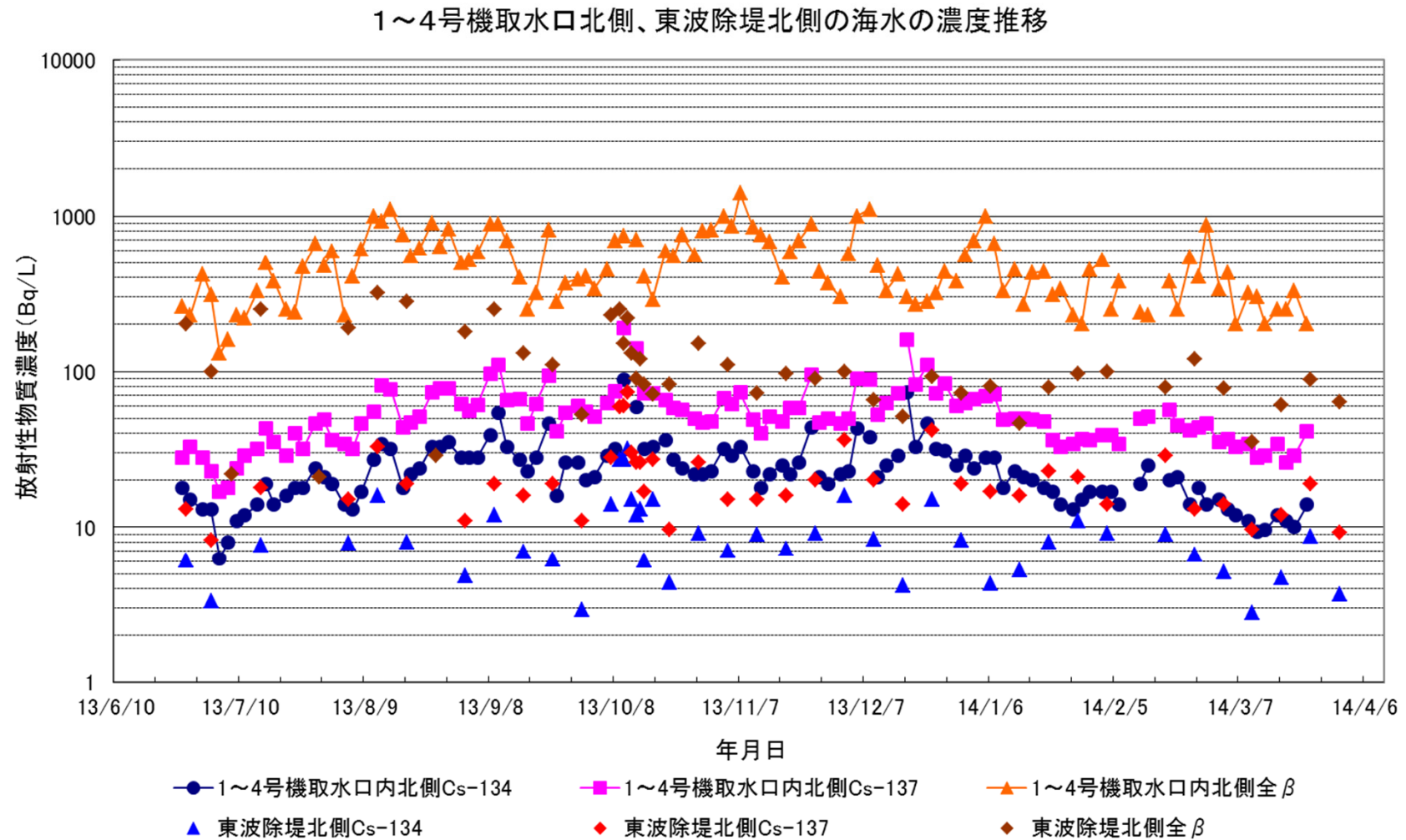
港湾内の配置



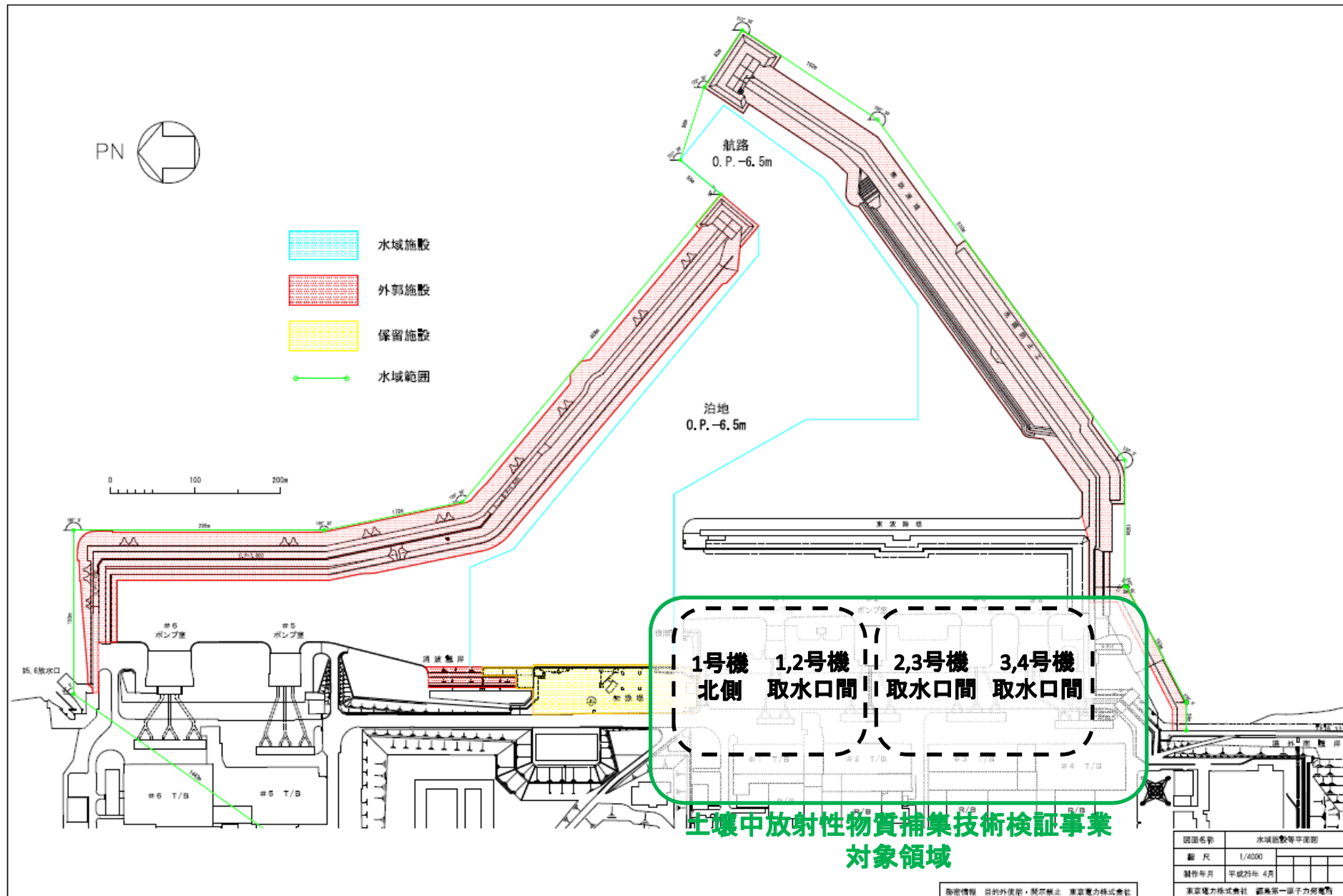
周辺海域の放射性物質濃度(海水浄化技術検証事業関連)



1～4号機取水口北側、東波除堤北側の海水の濃度推移

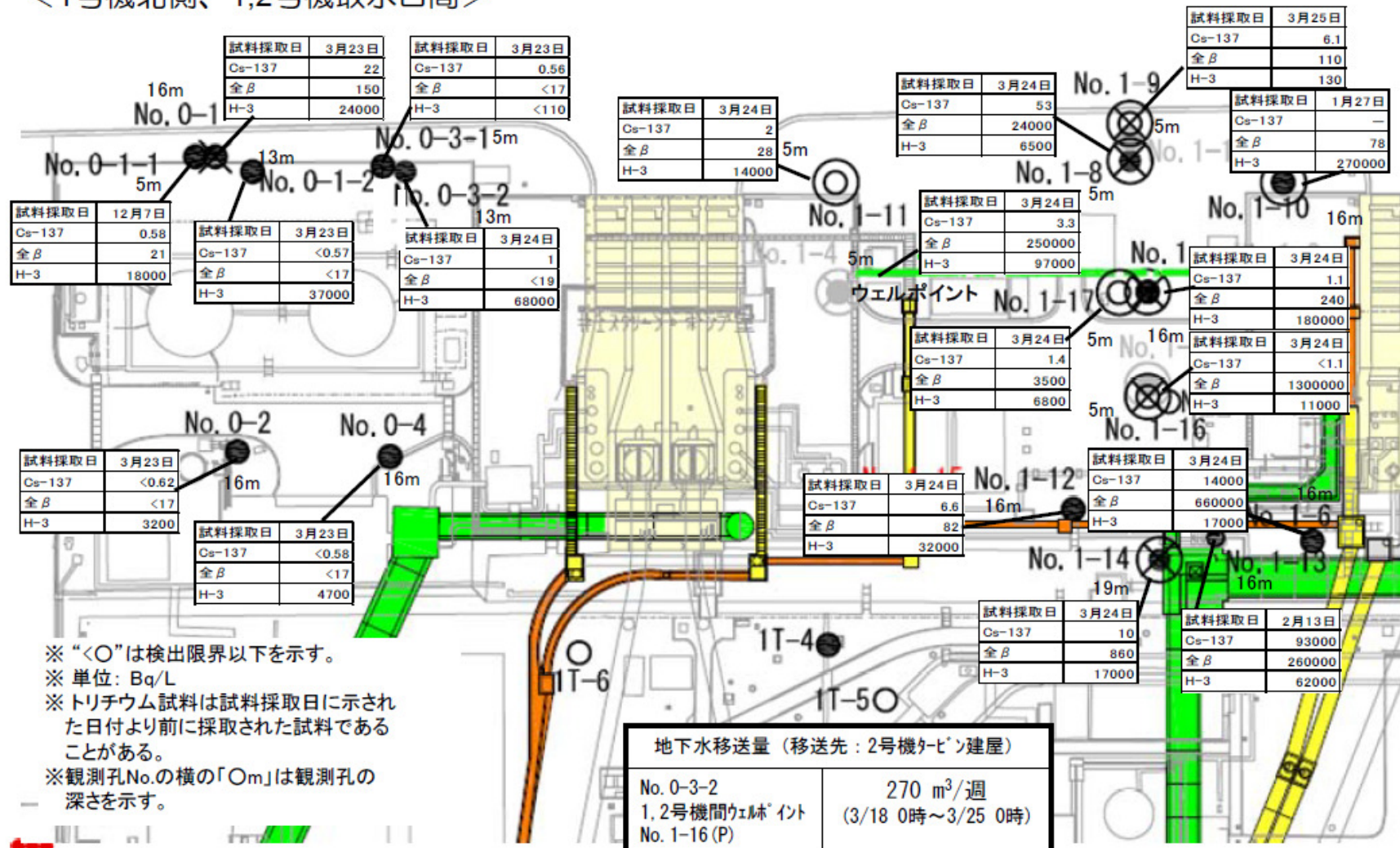


土壤中放射性物質捕集技術検証事業



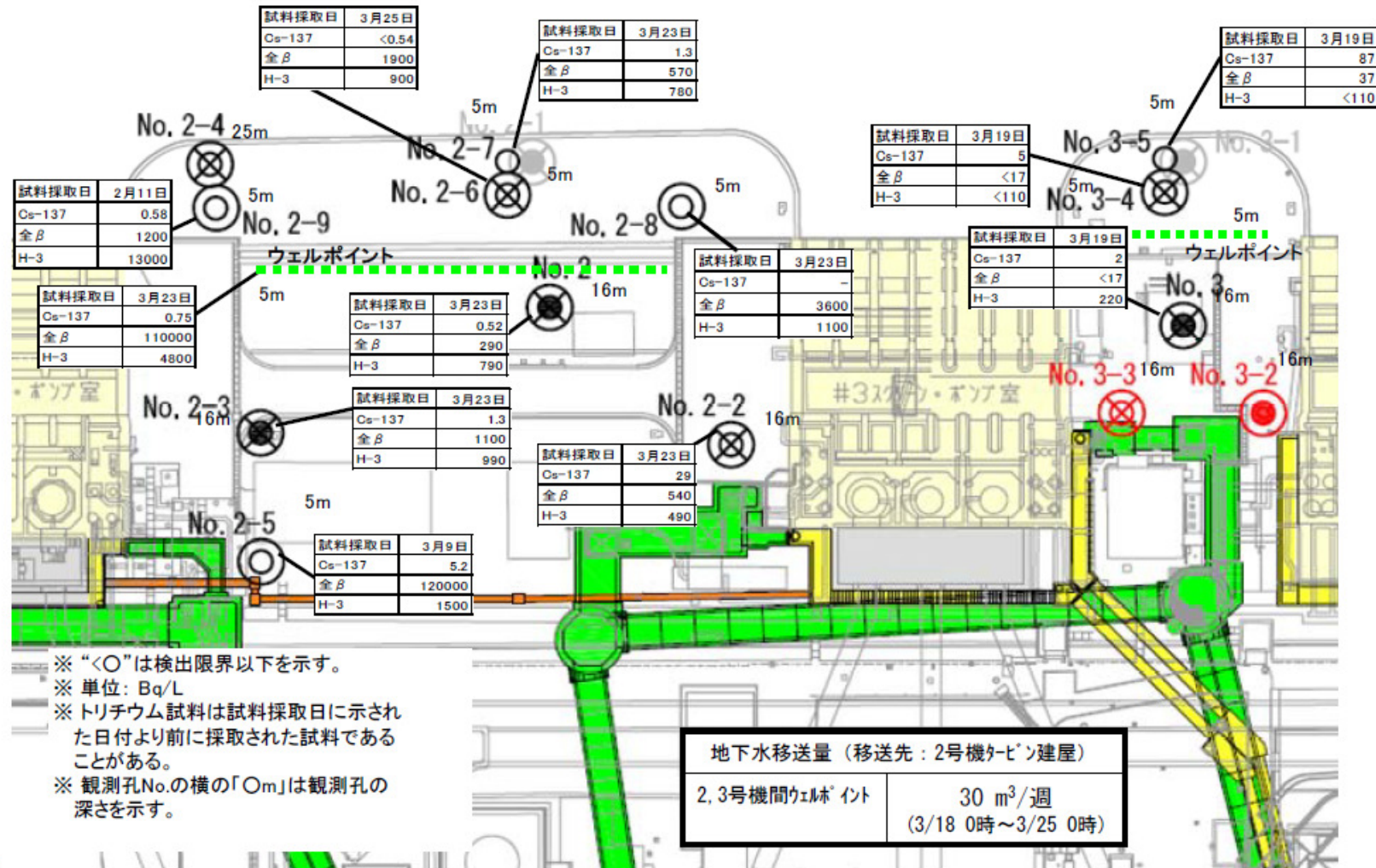
タービン建屋東側の地下水濃度 (1/2)

<1号機北側、1,2号機取水口間>



タービン建屋東側の地下水濃度 (2/2)

<2,3号機取水口間、3,4号機取水口間>



廃棄タンクの種類と数量

(1) 廃棄タンクの種類

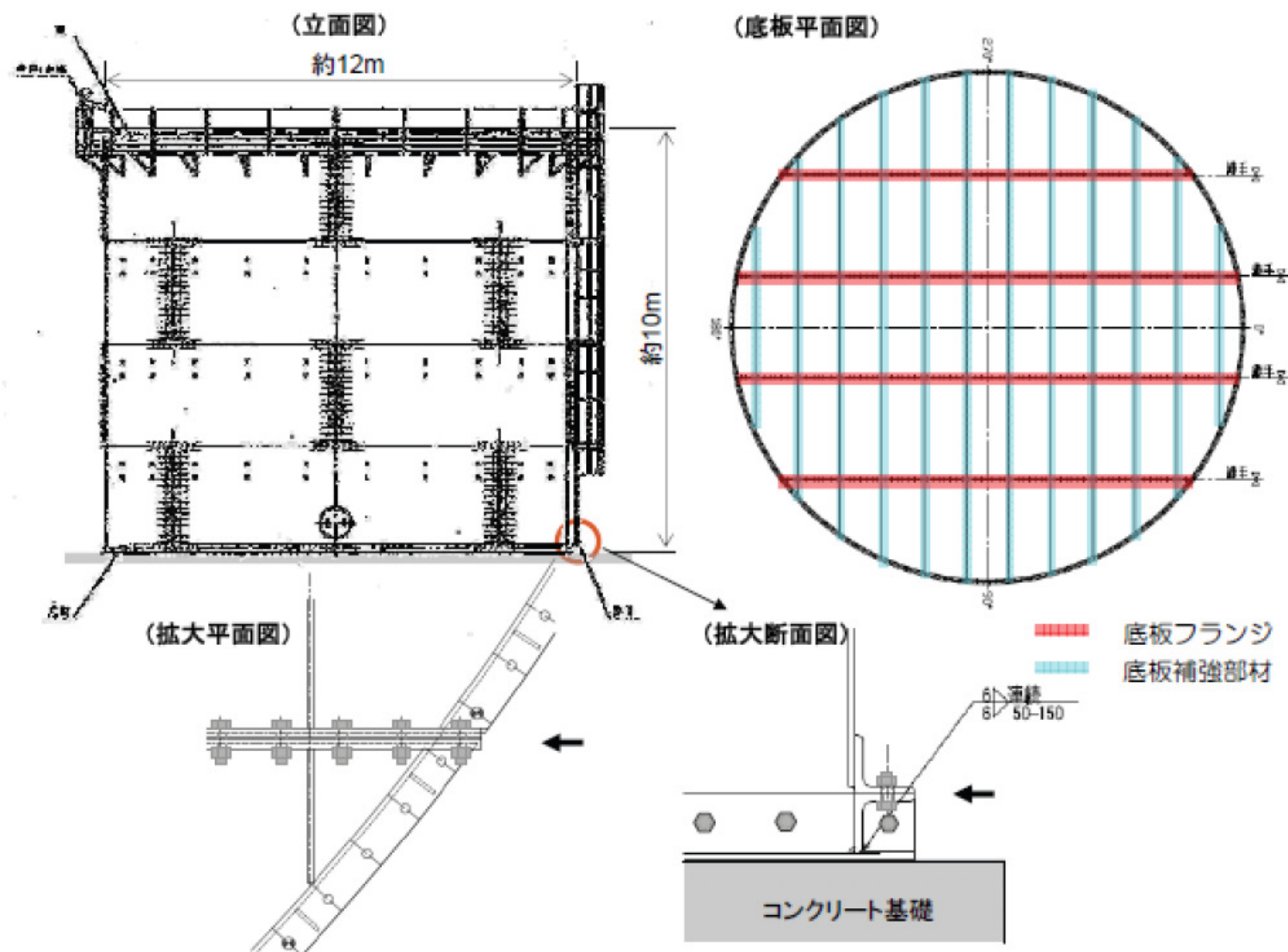
- ・円筒フランジ接合型タンク



(2) 廃棄数量

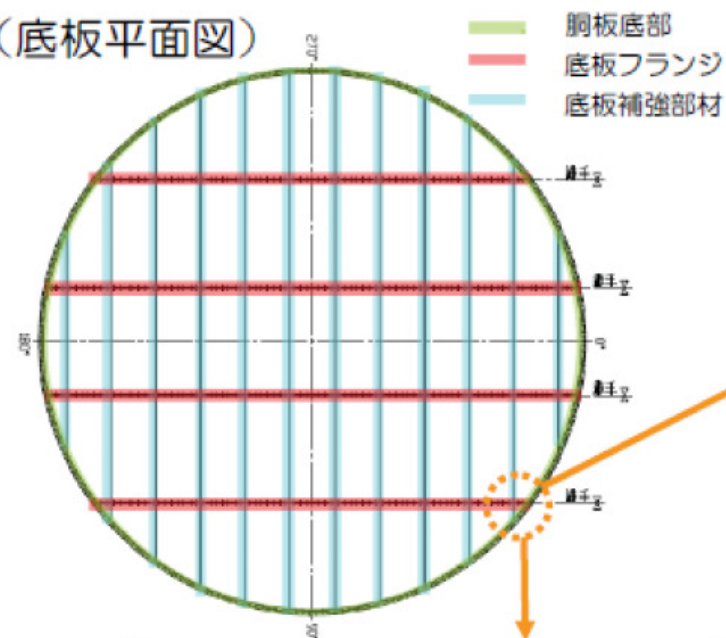
- ・340基

廃棄タンクの構造図



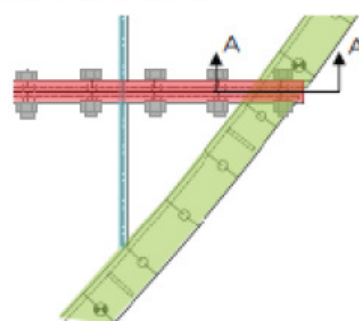
廃棄タンクの底板構造図

(底板平面図)

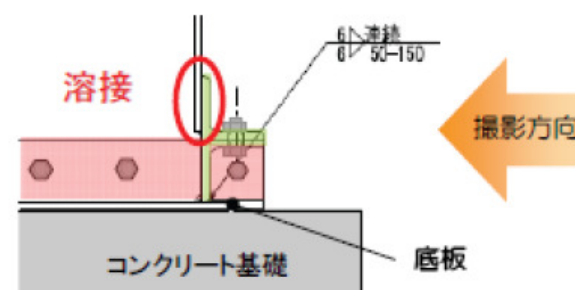


タンク底板フランジ接合部写真

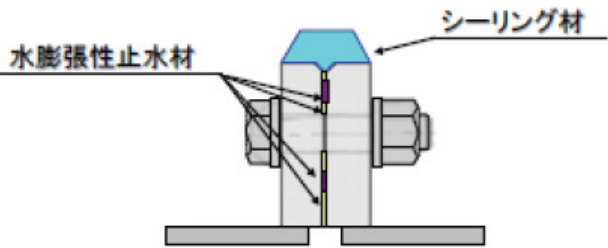
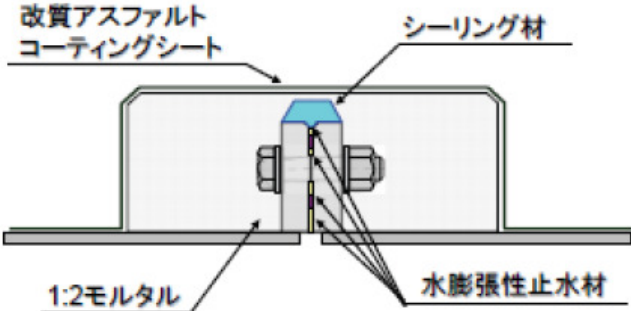
(拡大平面図)



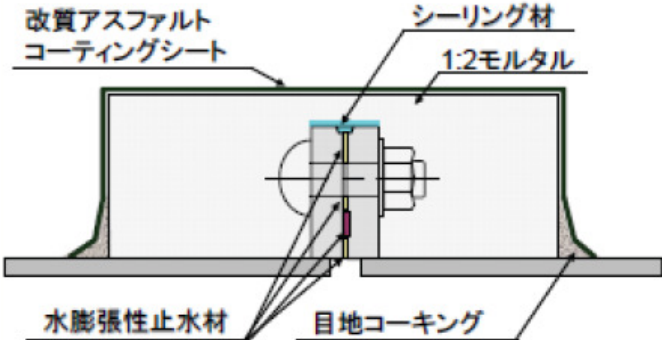
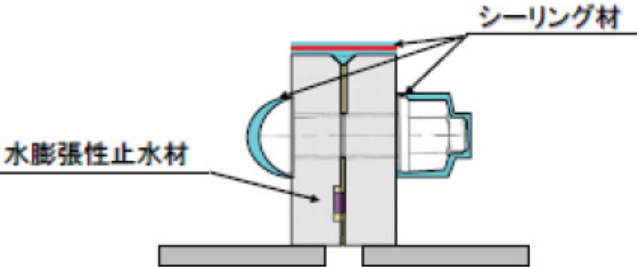
(A-A断面)



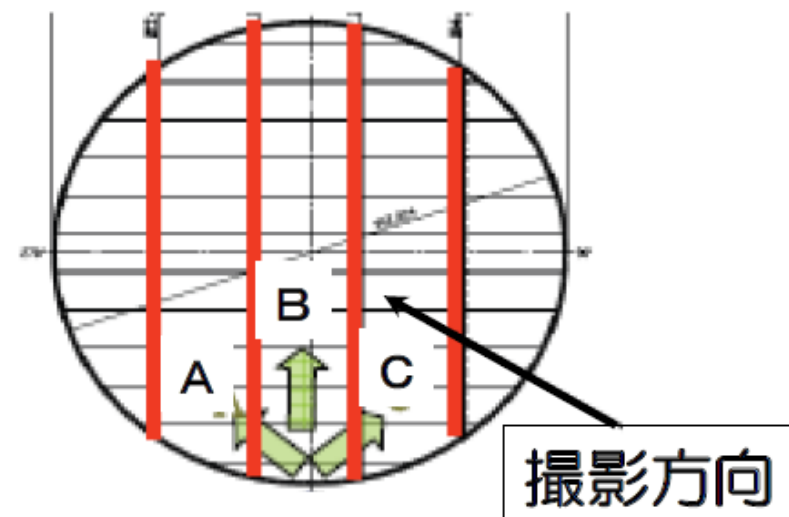
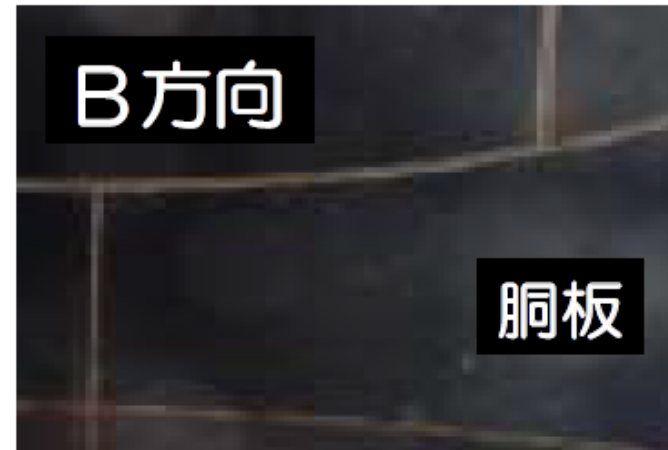
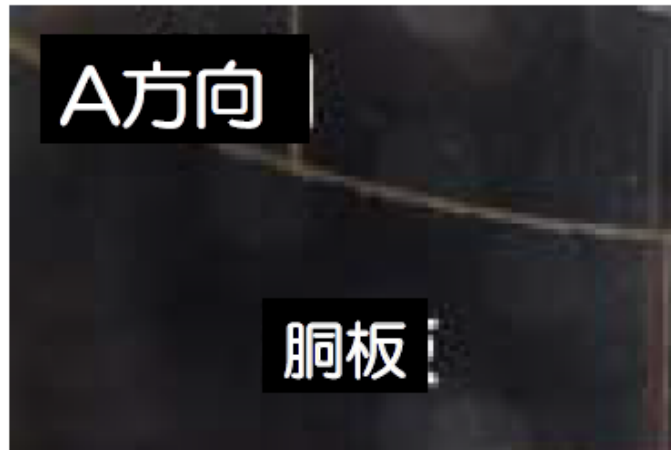
底板継手部構造図(1／2)

	底板止水構造断面図	施工例
Type-1	 水膨張性止水材 シーリング材	
Type-2	 改質アスファルトコーティングシート シーリング材 1:2モルタル 水膨張性止水材	

底板継手部構造図(2/2)

	底板止水構造断面図	施工例
Type-3,4	 改質アスファルトコーティングシート シーリング材 1:2モルタル 水膨張性止水材 目地コーキング	
Type-5	 シーリング材 水膨張性止水材	

タンク内部胴板の接合シーリング部



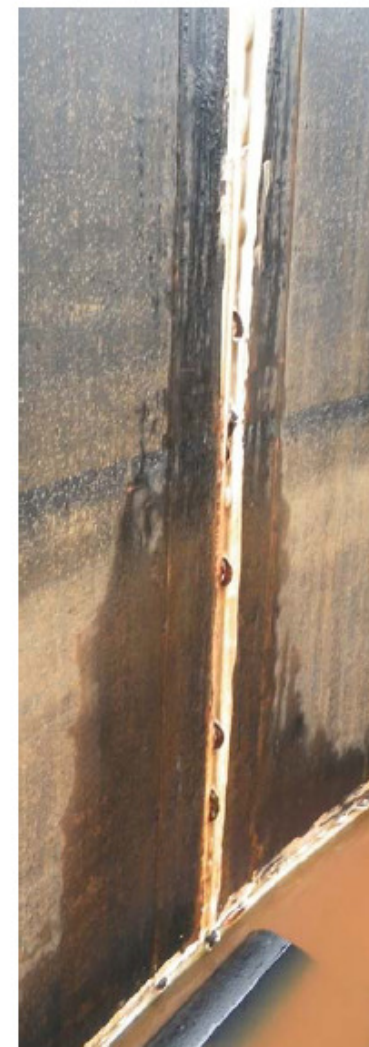
タンクの側面構造(接合部)写真



鋼製フランジタンク解体時の側面内部写真



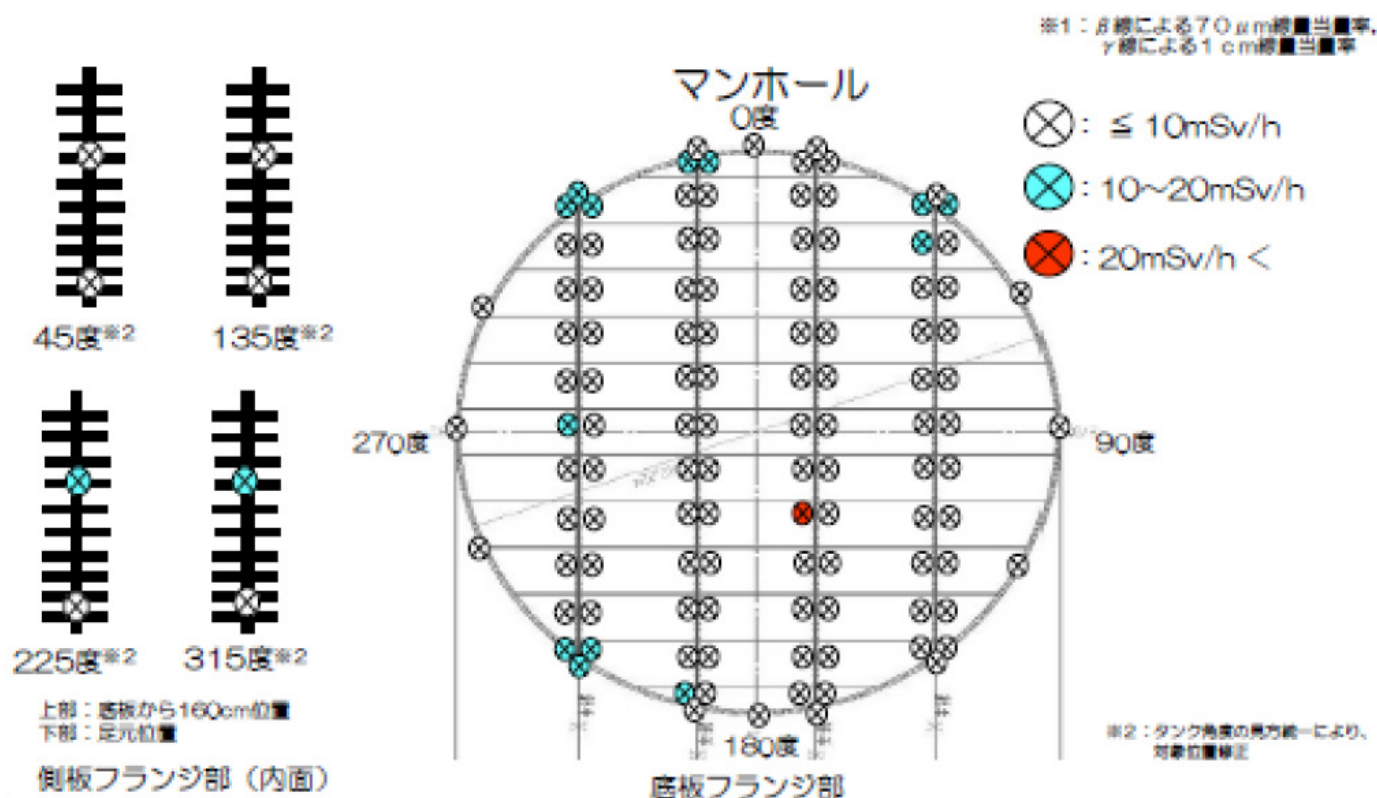
タンク側面接合部



タンク内の放射性物質濃度

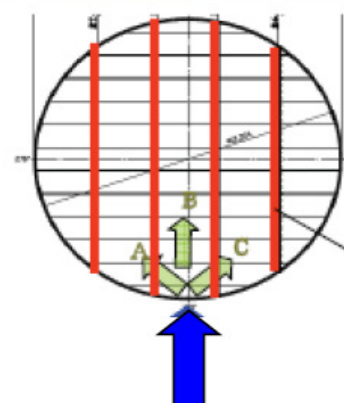
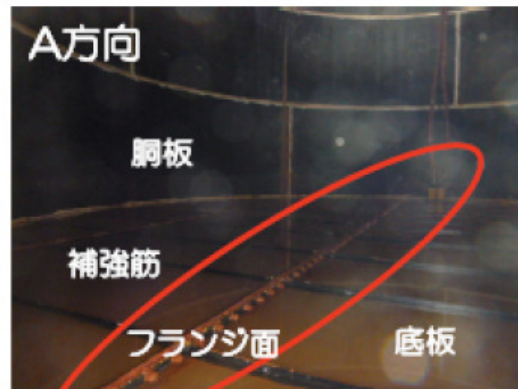
タンク線量測定結果 (H4エリアNO.5の例)

フランジ部の線量測定の結果、 β 線で概ね10mSv/h以下であり、最大約22mSv/h (γ 線は0.02~0.125mSv/h程度)であった。

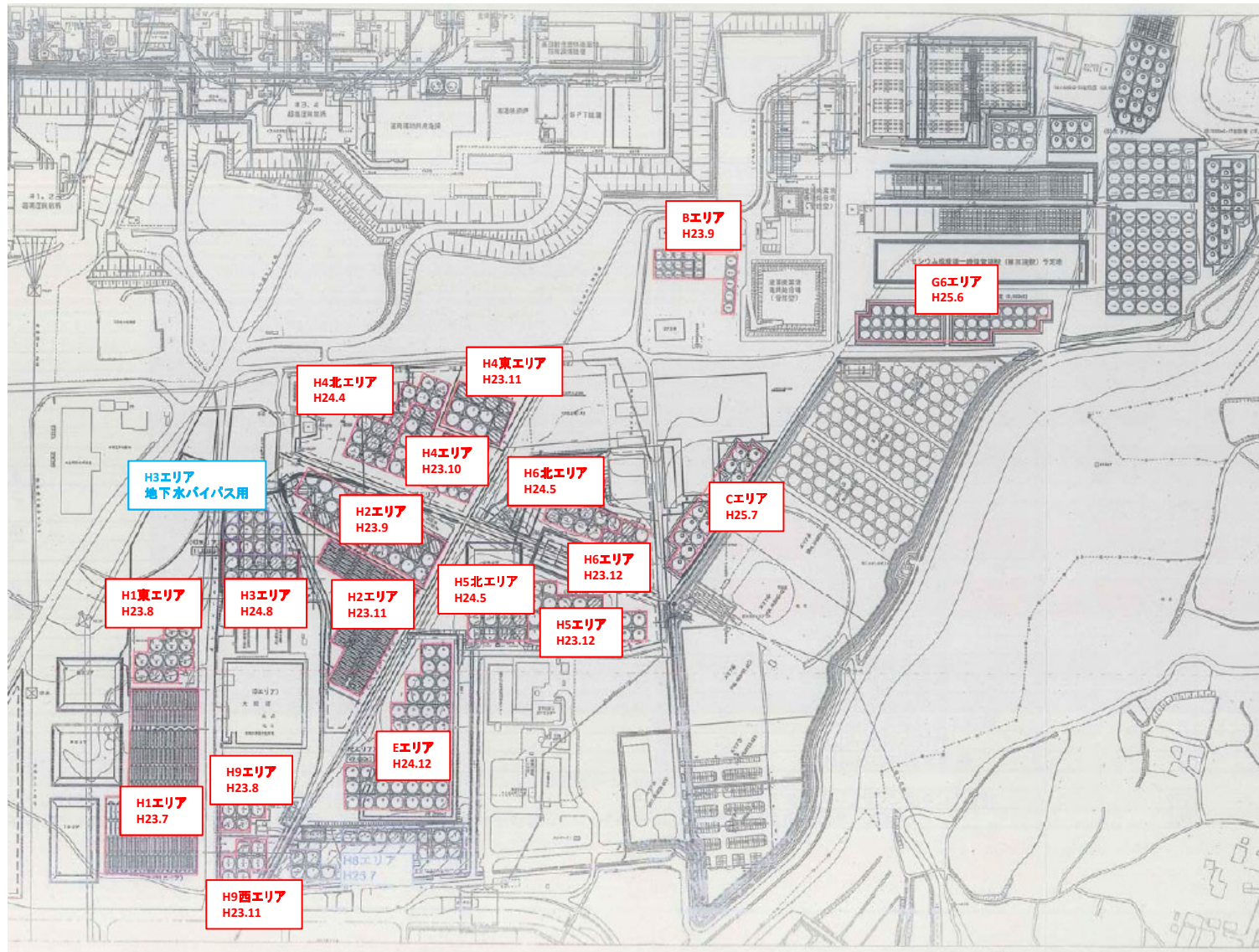


タンク内部の主な除染対象箇所

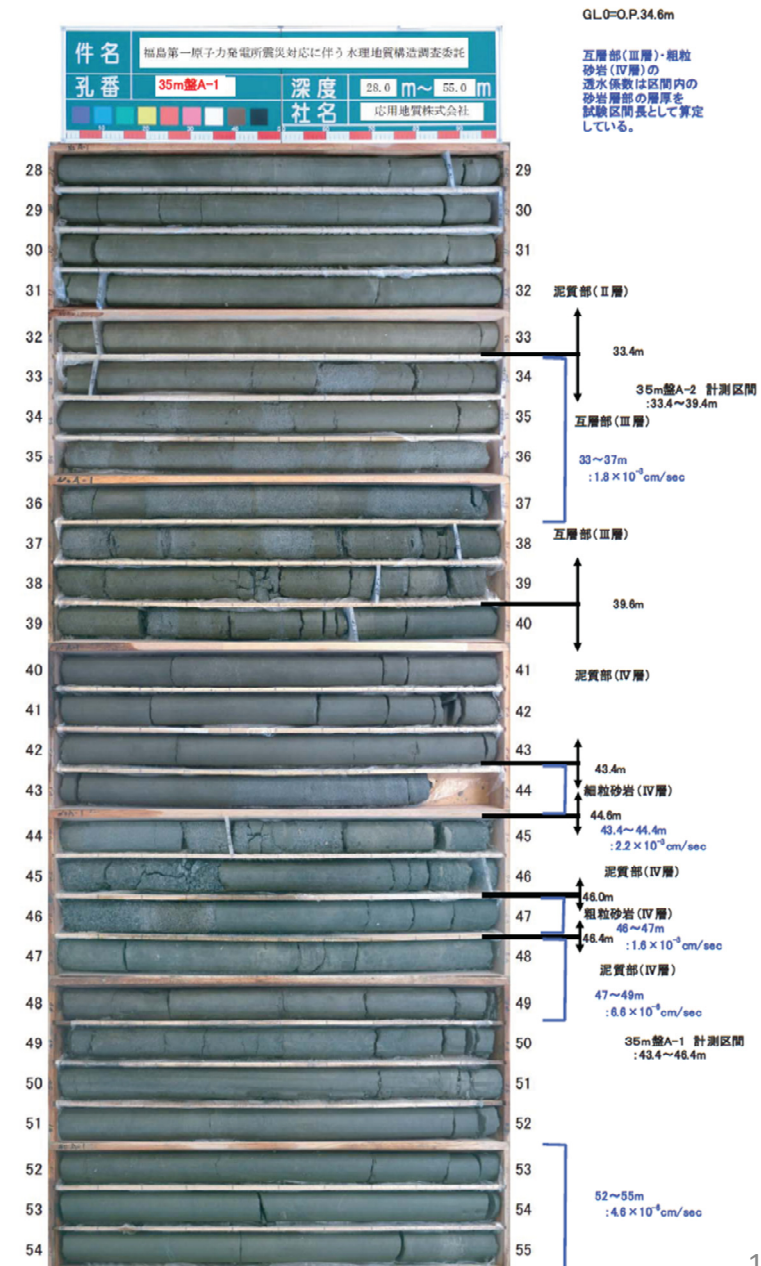
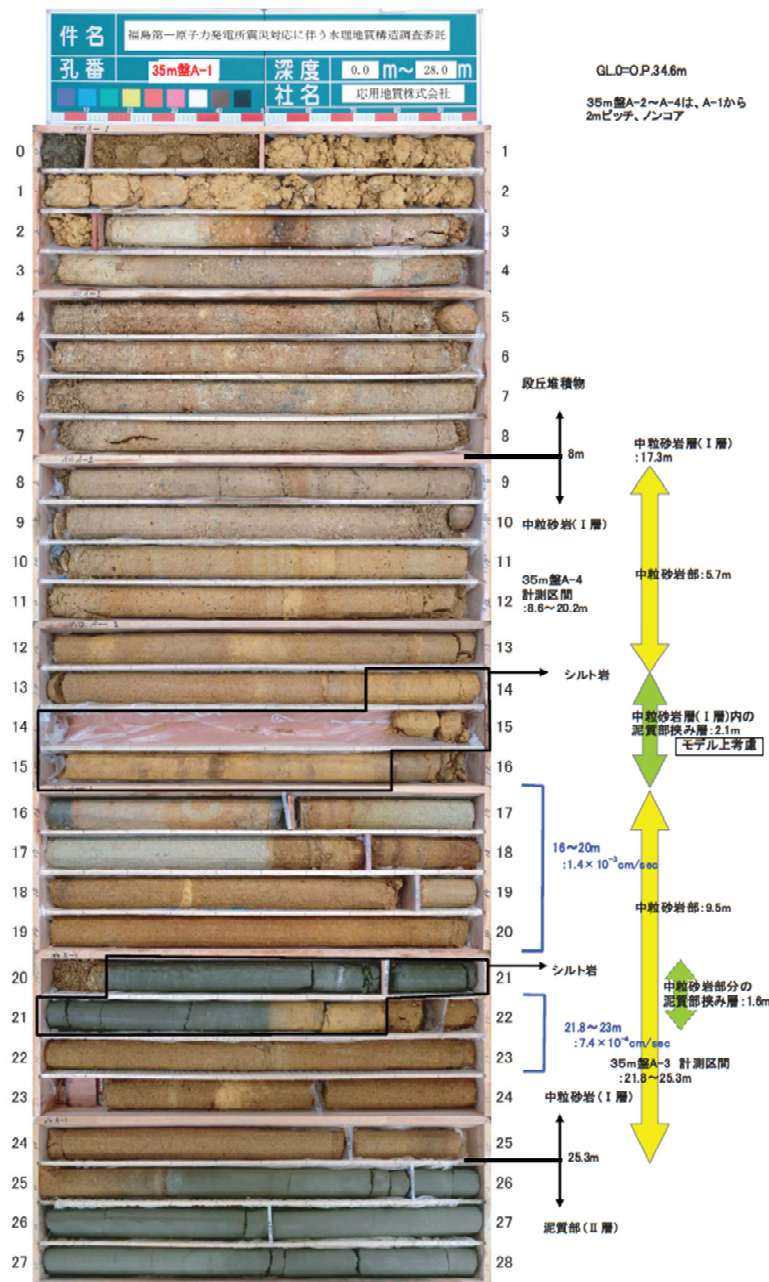
- ・胴板一般部について、外見上異常なし。接合部にはシーリング材が残存している。
- ・底板については、残水のため一般部の観察ができていない。フランジ部については、クラッドが若干堆積しているものの、接合部のシーリングが残存している。ボルト締結部は、シーリングとクラッドにより形状がやや明確でないが、顕著な腐食はいまのところ見られていない。



タンクの配置図



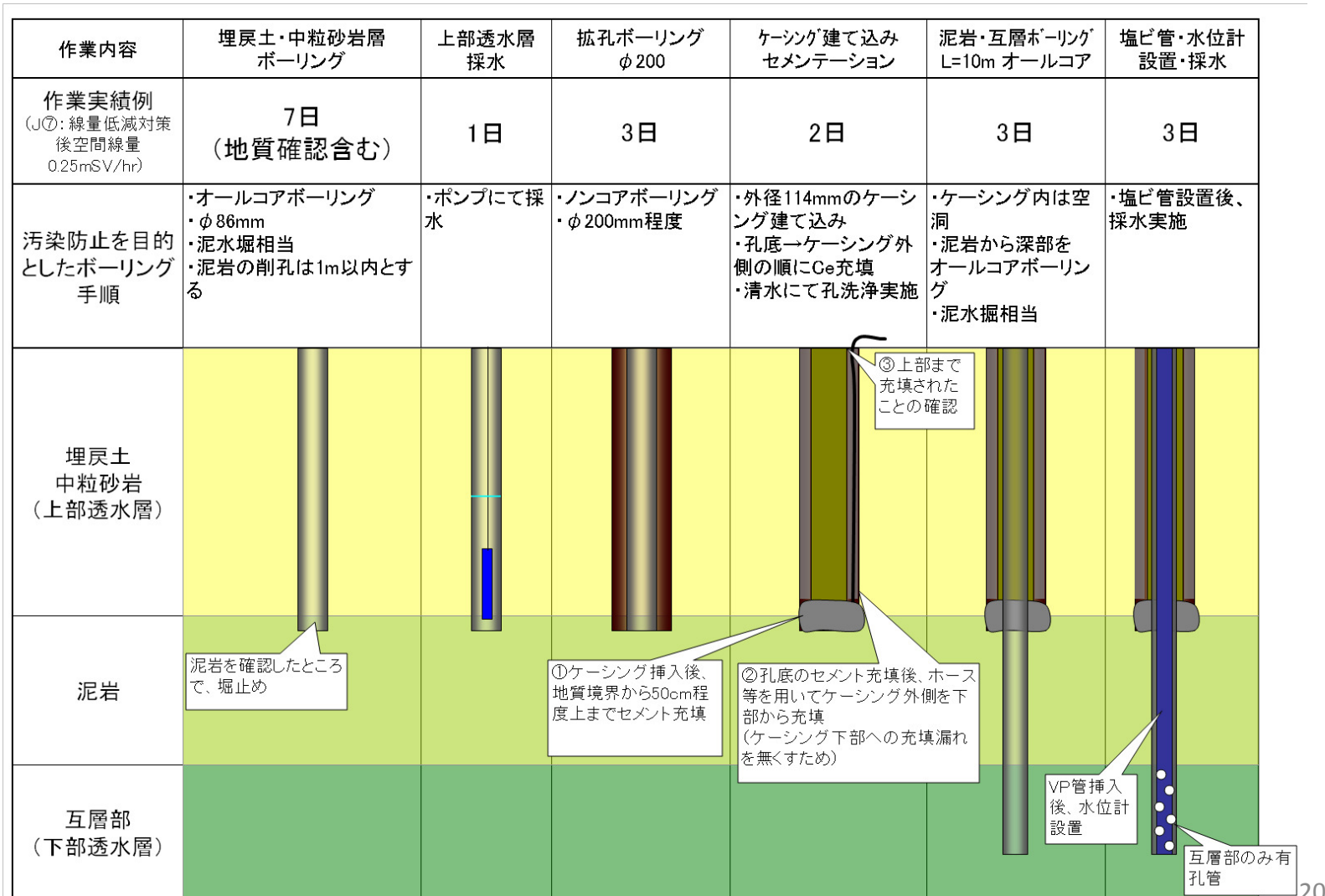
ボーリングコアの実績(無人ボーリング技術検証事業)



ボーリング手続きの一例(無人ボーリング技術検証事業)

地下水調査ボーリング(汚染対策施工例 L:25~30m 工期:10~20日間程度)

土壌・地下水汚染の恐れがある場所においてボーリング孔を設ける際には、影響を他の地層に拡散させないための工夫が必要となる。



※ 日当たり作業時間は12~18人・時間(=2~3時間/日×3人/班×2班)